

食欲をそそられる本

暑さが和らぎ秋の気配も濃くなってきました。今回は食欲の秋にちなんで、おいしそうな食べ物が登場する本を紹介します。

1冊目は、たな/作『おじいちゃんとパン』です。

「ぼく」のおじいちゃんは甘いものが大好き。食パンの上にはいろいろな甘いトッピングをのせて食べます。ある時はイチゴのジャムをたっぷり塗って、ある時はマシュマロをたくさんつけて。そして「ぼく」は、甘いパンを美味しそうに食べるおじいちゃんを見るのが大好き。そんな「ぼく」も成長して……。

ページをめくると現れるおいしそうに描かれた色とりどりのパンが目を引きまします。パンを通して描かれる「ぼく」とおじいちゃんの穏やかな日常が優しい絵でつづられ、心が温かくなります。子どもだけではなく大人も楽しめる一冊です。

2冊目は、TDK食べもの断面協会/著『ヒミツがまる見え！「おいしい！」の断面図』です。

表紙に大きく映っているのは、器ごと真っ二つになっているカップラーメン。この本は、さまざまな食材や料理の断面図を解説とともに紹介しています。馴染みのあるメロンやトマト、マグロから、味噌汁、天丼、おでんにカフェオレといった普段は見る事のない断面まで掲載しています。クロワッサンのページでは、食感や味の違うクロワッサンの断面をそれぞれ紹介するというこだわりよう。また、掲載されている断面図はCGではなく、すべて実写で撮影されています。

写真だけではなく、食べ物に関する豆知識も所せましと盛り込まれており、どのページも読みごたえがあります。好きな食べ物が、より好きになれる一冊です。

3冊目は、遠藤雅司/著『英雄たちの食卓』です。

歴史料理研究家である著者が、資料・文献から英雄たちが実際に食べていたであろう料理を再現した本です。クレオパトラがカエサルをもてなすために用意したスープやチンギス・ハンが食したというカレー、マリア・テレジアの晩餐会の肉料理などバリエーション豊かな料理が英雄のエピソードとともに30品紹介されています。

また、それぞれの料理にはレシピも書かれてあり、特殊な食材は現代でも入手しやすいもので代用されているので、当時の味を家庭で実際に再現することができます。歴史の教科書には載っていない英雄の新しい魅力を発見できる一冊です。

図書館には、今回ご紹介した本以外にも食べ物に関する本が沢山あります。ぜひ図書館にお越しください。